

**課題1. 経営者層と施設担当部課による施設の経営判断に要する適切な情報の共有とそれぞれの役割の明確化**

検討に際しての論点	主な意見(委員)
<b>(総合的な経営判断)</b>	
経営者層は、大学の理念やビジョン、戦略を基に、施設の整備・管理に関する情報を総合的に勘案して、施設の経営判断を行うことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備等を行うときは、短期的な目標、長期的な目標の中で、最初からアウトカム(効果)を想定するべき。</li> <li>アウトカムの評価は多面的に行う必要がある。(例えば、アウトカムとして就職を評価する場合、単に就職率のみだと、ブラック企業を含んでいる場合もあるので、多面的な評価が必要。)</li> </ul>
<b>(必要な予算の獲得)</b>	
適切な計画を策定し、必要な予算や理由を学内に説明し、同意を得た上で予算の獲得をすることが重要。	
<b>(学内コンセンサスの獲得)</b>	
施設担当部課は様々な施設情報を収集し、分析や評価を行った上で見せる化を行い、経営者層が必要となる情報を提供することが必要。	情報が執行部まで(全学的に)共有されておらず、経営のためのデータになっていないことが課題。
<b>(マネジメントの全学的な実行)</b>	
全学的な施設マネジメントを実行していくためには、施設担当部課が本部事務局、部局、施設利用者等の全学的な理解や協力を得ることが重要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設マネジメントにユーザーの視点を入れたらどうか。</li> <li>施設マネジメントにおいて各層(経営層、実務担当者)が具体的に何をすべきかを記載した方がいい。</li> <li>施設マネジメントが、組織的に取り組まれていないことにより、施設マネジメントに継続性がないことが課題。</li> </ul>

**課題2. PDCAサイクルの着実な実行**

検討に際しての論点	主な意見(委員)
<b>(施設の情報管理)</b>	
既存施設の現状を把握し、課題を抽出するためには、施設情報の一元的な管理が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報管理をきちんと行い、情報を基に判断を行うことがマネジメントの基本。</li> <li>情報が執行部まで(全学的に)共有されておらず、経営のためのデータになっていないことが課題。(再掲)</li> <li>ベンチマーク手法をもっと推進するべき。</li> </ul>
<b>(施設整備・管理の目標)</b>	
国立大学等は、今後の教育研究の動向を踏まえ、経営面から費用対効果などを十分に検討した上で、教育研究活動に対応できるよう施設水準を主体的に設定することが必要。	施設整備等を行うときは、短期的な目標、長期的な目標の中で、最初からアウトカム(効果)を想定するべき。(再掲)
<b>(適切な評価・分析の実施と企画・計画への反映)</b>	
施設マネジメントをPDCAサイクルの中で着実に実施していくことが必要。	アウトカムの評価は多面的に行う必要がある。(例えば、アウトカムとして就職を評価する場合、単に就職率のみだと、ブラック企業を含んでいる場合もあるので、多面的な評価が必要。)(再掲)
<b>(人材の育成)</b>	
継続的な施設マネジメントの取組にあたり、組織的なスキルの維持が重要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務も施設も分かる人材育成が必要</li> <li>組織を横断的に把握する人材育成が必要</li> </ul>

**その他**

検討に際しての論点	主な意見(委員)
<b>(報告書の方向性について)</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>マネジメントをどうやっていいか全く分からない人たちへの解説書(例えば、ケーススタディや事例集を含めたような)を作成すべき。</li> <li>各大学にとって施設マネジメントは、具体的に何をすべきか分かりづらいことが課題。</li> <li>大学規模によりマネジメントのレベルがそれぞれあるので、段階別の整理を行うべき。</li> </ul>
<b>(国の推進方策について)</b>	
	施設マネジメントの推進を長期的なプログラムの中で考えていき、各段階における具体的な推進目標を定めた方が、各大学は動きやすいのではないかと。